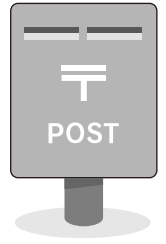




# 「まちづくり意見はがき」の 回答を公表します



令和2年10月から令和3年3月末までにいただきました「まちづくり意見はがき」等の主なご意見と回答内容をお知らせいたします。

Q1：行政改革に関する提言書に「官民連携」が明記されていたことから、まちづくり基本条例に「官民連携」を取り込んだ条令改正をしてはどうか。

A1：本条例において自主・自立に向けた取組として、市民と議会との協働のもと、自主的に行財政改革に取り組むこととしており、芦別市行政改革推進委員会からは、これまでに施設管理等に係る事務的経費の削減等の議論を行う中で、その手法として指定管理者制度の推進や、NPO法人への業務委託などの官民連携の取組についてご意見をいただいたものと受けとめております。このため、次期の条例の見直し時に、改めて協議していきたいと考えております。

Q2：がん検診の受診率向上に向けた取組が必要だと思えます。

A2：市では、がん検診を受けやすい環境を整えるため、集団検診の土日開催や特定健診との同時実施に加え、各種がん検診の自己負担無料化、集団検診でのレディースデイの実施、乳がん・子宮頸がんの個別検診実施期間の追加、メール申込受付の強化等、受診率向上対策を実施するとともに、がん検診に関する案内や取組の情報発信を行っていますが、関心の低いかたに必ずしも必要性が伝わっていないと考えております。この

ことから、行政からの積極的な情報発信に加えて、関心の低いかたや受診を迷われているかたに、既に受診されたかたからお声がけをいただくなど、市民目線からも普及活動を行い、受診率が向上するようさまざまな視点を持って受診勧奨を行ってまいります。

Q3：芦別中学校と啓成中学校が統合される時に、制服の購入チケットを配布するなど配慮してほしい。

A3：中学校の統合に関しましては、今後、市内小中学校の配置基準を見直し、その上で進めていくこととしていますが、統合するまでの間には、通学方法、学習のルールや学校生活上のきまりなど、さまざまな点で学校間での調整が必要になってくるものと考えております。その中では、制服についても重要な事項であると考えておりますので、ご意見も参考にしながら、慎重に検討してまいります。

Q4：芦別高校のあり方について、芦別はパン用の小麦を作っていることから、パンに関する学科など特色のある学科を創設してはどうか。

A4：現在、芦別高校は、1学年の募集定員が80名の普通科の道立高校ですが、近年は、募集定員に満たない状況が続いています。このまま生徒数が減少することは高

校の存続問題にもつながることから、歴史と伝統ある文武両道の芦別高校を守っていくため、行政だけではなく、市議会や市内学校関係者、PTAや町内会の代表、経済団体の代表等からなる高校問題協議会という組織を設置し、芦別高校の今後のありかたを協議、検討してきているところです。その中では、本市の中学生の高校志望先は普通科が最も多いことから、芦別高校の学科は、他の学科への転換は行わず、普通科のままとし、80名定員を維持することを目指すこととしました。ご提案いただいたパンに関する学科は、非常に特色のあるものと思っておりますので、新たな学科の設置や学科の変更は別として、芦別高校における学習や活動の一つとして、芦別高校に提案してみたいと考えております。

Q5：国道452号の工事の進捗状況について

A5：国道452号につきましては、現在、未開通区間が12.9kmあり、これまで2kmは道路工事を行っています。令和3年から1か所のトンネル工事に着手しますが、残りの11kmについては2か所のトンネルと5つの橋の工事が計画されていることから、現時点においては全線開通の予定は立っていない状況です。

市では市民の皆さんから寄せられるさまざまな意見や要望を伺い今後のまちづくりに反映するため、まちづくり意見はがきの他、市役所1階に設置してあります市民の意見箱、メールや手紙等で意見を募集しています。

●問い合わせ／企画政策課秘書係 ☎27-7065